

私が実践した技術士試験対策



取得した資格：技術士（建設部門）
資格取得年度：令和2年度

わか つき まさ くに*
若 月 雅 国*

1. 受験の動機・経緯

私が技術士の受験を本格的に志したのは、35歳頃でした。きっかけは、何気なく立ち寄った書店で過去問題を見て、それまでに経験した業務を通じて培った知識で解答できる具体的なイメージが描けたことでした。その問題分野は頻出テーマでもあったことから、確実に得点できる分野があることを確認できたことが受験準備を始めるきっかけでした。

私は、4回目の受験で合格することができました。1回目は、申込みは行ったものの準備が不十分で、不合格でした。2回目の受験は、選択科目Ⅱ・Ⅲともに「B」の評価で不合格でした。3回目の受験は、選択科目Ⅱは「C」、Ⅲは「A」の評価で不合格でした。4回目の受験から、試験制度が変わり、必須科目も記述式となりましたが、必須科目、選択科目Ⅱ・Ⅲいずれも「A」の評価で合格しました。

2. 試験対策

1) 業務経歴書の記入

筆記試験に合格した受験生は、口述試験に臨むこととなりますが、その際の質疑で必ず問われるのは、受験申し込みの際に提出した業務経歴書です。そのため、業務経歴書の記入は合否に影響するポイントの一つです。技術士法では、「技術士とは、科学技術に関する高等の専門的応用能力を必要とする事項についての計画、研究、設計、分析、試験、評価又はこれらに関する指導の業務を行う者」とされてお

り、業務経歴書の実務経験欄における業務内容には、「計画」、「設計」、「分析」などの語句を盛り込むことをお勧めします（例えば、**自動車道における「計画」策定等）。

2) 筆記試験対策

筆記試験の対策は大きく2つの取組を実践しました。まず1つ目は、キーワード学習です。技術士の試験問題は記述式ですが、解答においては正確な文章や数値を記述しなければなりません。そのため、技術等の名称、内容、具体的な数値などはしっかりと暗記する必要があります。そのための対策として、市販されている「最新キーワード集」や国土交通省HPに掲載されている技術文書等に記載されているキーワードを収集し、正確に暗記しました。各種書籍などに記載されている内容を理解し、ノートに自分なりの文章で記録するなどして暗記しました。また、書き込んだ内容に対して、自分なりにそのキーワードに対する課題や課題解決策などの情報を追記すると、情報やキーワードが連関し、暗記しやすくなります。最終的に、必須科目で150程度、選択科目で200程度のキーワードをノートに書き込みました。

2つ目は、記述式対策です。まず私が着手したことは、過去問題を用いた出題傾向の分析です。技術士の出題内容は広範囲にわたるため、効率的な試験勉強を実施するために頻出分野などを分析し、まず押さえるべき分野を絞りました。頻出分野や自分の得意分野の過去問題を解いてみました。最初は、各

*国土交通省 道路局 国道・技術課 道路メンテナンス企画室 維持修繕係長

種文献等を参照しながら、過去問を演習しました。演習した結果は、できれば技術士の資格を保有している方に添削してもらい、意見をいただくと良いと思います。記述式の解答内容が偏った知識や技術を記載しても得点につながらないと考えられるためです。

筆記試験対策の週間スケジュールは、平日は仕事のため、出勤前に1～2つ程度のキーワード学習を行い、通勤・帰宅時の電車での移動時間にキーワードの振り返りを行いました。帰宅後に時間が確保できるときは、時間や体力が許す限りキーワード学習をするように心掛けていました。休日は、キーワード学習を1～2時間程度、記述式の演習を3～4時間程度行いました。その他、すきま時間でキーワードの振り返りを行いました。

3) 口頭試験対策

口頭試験対策は、市販されている書籍を参考に、受験申込書の内容も踏まえ、想定問答集を作成しました。こちらも移動中に黙読する等の対策を行いました。民間セミナーが開催する口頭模擬試験も利用しました。こちらも、技術士の資格を所有している方などに模擬面接をしてもらおうと良いと思います。

口頭試験は、筆記試験の内容も質問される可能性もあるので、筆記試験が終了したら、記載した解答内容を復元しておくが良いと思います。

口頭試験では、コンピテンシーに関する内容が質問されます。例えば、問題解決能力について、これまでの業務経験の中で二律相反事例を挙げて具体的にどのように解決したか、などを質問されました。想定問答集の作成に当たっては、コンピテンシーに関連する内容を盛り込んだ方が良いと思います。また、面接時の留意事項としては、専門的な質問をされた場合、面接官と受験者の技術的対話がヒートアップしてしまう場合があります。そのような時は、自分の意見を主張し論破しようとせず、一定の考えを述べた後は面接官の意見に理解を示しつつ、今後検討させていただくなど、多様な意見に耳を傾ける姿勢を示すのが良いと思います。

3. 受験者へのアドバイス

合格する上で最も重要な要素は「モチベーションの維持」であると思います。モチベーションが低ければ、勉強時間の確保も難しくなると思います。「合格はしたいけれど、勉強しても不合格になるかもしれない」と葛藤を抱えながらでは、モチベーションを維持することは難しいと思います。さらに家庭をお持ちの方は、家族との時間を考えると勉強時間の確保もさらに難しくなります。私は、複数回のチャレンジで、合格水準に達していないまでも徐々に成果が現れてきていた実感が得られたということもあり、合格した年は、「今年合格できなければ、もう受験はしない」と背水の陣で臨みました。合格水準に達するため、民間主催の模擬試験やセミナーを受講しました。受講で様々な情報などを得ることもでき、また、同じように技術士合格を目指す同世代の方から刺激を受けました。孤独な受験は非常に苦しいものです。同じように技術士取得を目指す同僚などと一緒に勉強に取り組むこともモチベーション維持の方法の一つだと思います。あくまでも私の経験を紹介させていただきましたが、モチベーション維持の方法、勉強方法、時間の確保など自分に合ったやり方を見出し、合格を目指して頑張ってください。

【著者紹介】 若月 雅国 (わかつき まさくに)

平成16年度国土交通省関東地方整備局入省。横浜国道事務所や甲府河川国道事務所などで道路計画、調査・設計・積算業務などに従事。そのほか、国土交通本省への出向や技術系職員の採用担当などを経て現職。